

**2017年11月～2025年3月に当院整形外科で、骨密度検査を受けた方へ**

研究 骨粗鬆症外来における骨密度・骨質・体組成評価の実態調査 の実施について

**1. 本研究の目的および方法**

目的: 加齢に伴い、骨粗鬆症や筋肉量の減少(サルコペニア)が生じます。骨粗鬆症やサルコペニアは、ともに身体機能を低下させることがあります。超高齢化社会の我が国において、骨密度や筋量の低下を防ぐことが重要であります。まずは、現状を把握するため、一般骨粗鬆症外来において、骨密度、骨質、筋量の実態調査を行うことを目的としております。

対象者: 2017年11月～2025年3月に当院整形外科で、骨密度検査を受けられた方

方法: 骨密度・骨質・体組成データを分析し、電子カルテより、年齢、身長、体重、既往歴、使用薬剤、臨床検査値結果、画像結果、診療記録を調査します。

本研究は、倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

**2. 研究に用いる試料・情報の種類および保管方法について**

研究に用いる試料・情報: 骨密度・骨質・体組成データ、年齢、身長、体重、既往歴、使用薬剤、臨床検査値結果、画像結果、診療記録等。

保管方法: 本研究で得られた結果は、整形外科・教授 西良浩一が管理し、研究の中止または終了後3年の間、整形外科教室の施錠できる書庫にて保管します。研究の中止または終了後3年経過後に、データを削除するものとします。

**3. 研究結果の公表について**

本研究の結果は学会や雑誌等で公表することがありますが、公表に際しては特定の研究対象者を識別できないように措置を行った上で取り扱います。

**4. 研究資金および利益相反管理について**

本研究における特別な研究資金はありません。本研究は、本院の研究費のみを使用して実施されます。本研究の利害関係については、臨床研究利益相反審査委員会の審査を受け、承認を得ております。

**5. 本研究への参加を拒否する場合**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

**6. 研究責任者および連絡(問合せ)先**

【研究機関】 徳島大学病院

【研究責任者】 徳島大学病院整形外科・教授・西良浩一

【連絡先】 徳島大学病院リハビリテーション部・特任講師・佐藤紀

電話番号 (088) 633-7240

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい。